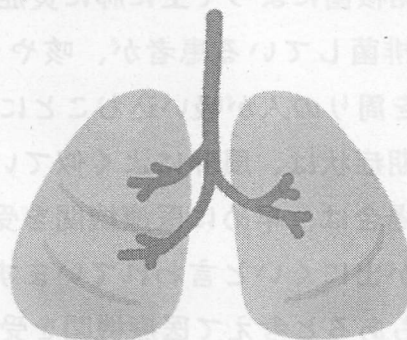


を受けましょう



※尼崎市が1,200円を助成しているので、自費で受診するよりも安く検診を受けることができます。また、減免の条件に該当する場合には、無料で検診を受けることができます。
減免対象者は、市民税非課税世帯・生活保護法による被保護世帯に属する方、その他市長が認めた方です。減免を受けるためには検診を受ける前に必ず手続きが必要です。詳しくは保健所（TEL06-4869-3033、FAX 06-4869-3049）へお問い合わせください。



TEL 06-4869-3008 FAX 06-4869-3049

[illegible]

結核ってどんな病気？

結核は今もなお、日本で最大級の感染症です。

結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。

結核菌を排菌している患者が、咳やくしゃみをするすると結核菌を含むしぶきが空気中に飛び散り、それを周りの人が吸い込むことによって感染します。

結核の初期症状は、風邪によく似ています。咳や痰、微熱、体重減少、胸痛、倦怠感などの症状が続く場合は、早めに医療機関を受診するようにしましょう。また、高齢の方は、咳や痰などの症状が出にくいとされていますので、原因不明の発熱や食欲不振などが続くときは、結核の疑いもあると考えて医療機関を受診するようにしましょう。

結核の特徴

- 80歳以上の方は、約半数が過去に結核の感染を受けていると推計されています。
- 高齢の結核患者は、若い頃に感染した結核菌が休眠状態のまま体内に残り何十年も経たのちに、糖尿病やがん、腎不全などの病気の治療や、加齢による免疫の低下により再び活発になり、結核を発症する場合があります。とくに80歳以上の方の罹患率は全年齢層平均の約5倍となっています。
- 結核を発症しても、初期段階ではほとんど症状（微熱、体のだるさ、長引く咳・たん等）が表れず、特に高齢者では気づかないうちに進行してしまうことがあります。
- 実際、家族だけでなく、高齢者施設やデイサービスなどで、利用者や職員が感染・発症する事例も見受けられます。介護サービスを利用されている方は、特に早期発見が重要です。

尼崎市における結核の状況

尼崎市では平成30年に新たに85人が結核を発症しています。

そのうちの約75%が65歳以上の高齢者です。

また、尼崎市の結核罹患率は、全国平均や兵庫県と比べても高い水準となっています。

